

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場会社名 新内外綿株式会社

上場取引所 大

コード番号 3125 URL <http://www.shinnaigai-tex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 福井 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 葛原 三治

TEL 06-4705-3781

四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年3月26日～平成21年12月25日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,273	△20.5	189	△32.9	181	△31.3	123	△17.2
21年3月期第3四半期	4,119	△13.9	283	△7.9	264	△7.8	149	△10.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	6.32	—
21年3月期第3四半期	7.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	3,935	2,205	56.0	112.69
21年3月期	4,243	2,120	50.0	108.34

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,205百万円 21年3月期 2,120百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年3月26日～平成22年3月25日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	△14.5	264	△22.9	250	△23.6	140	△35.3	7.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 19,598,000株 21年3月期 19,598,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 28,002株 21年3月期 26,670株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 19,570,378株 21年3月期第3四半期 19,574,341株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2008年度末を底に緩やかに回復、企業収益の悪化にも歯止めがかかりつつありますが、依然低水準にとどまっております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、厳しさは続いております。

このような状況のもとで、当社グループ紡績部門におきましては、高効率多品種生産システムの確立（「はやいやへん」の進化）と全国繊維産地巡回展示会開催等による新たな販路開拓に努めましたが、同部門の売上高は19億28百万円となり、前年同期比3億33百万円（14.7%）の減収となりました。テキスタイル・製品部門におきましても、ニット分野は、当社の得意とするテンセル素材を中心に、国内生産をベースに強みを生かした商品に特化、織物分野でも、テンセル素材等による差別化と中国オペレーションでの優位性を強化、製品分野におきましても、ミセスブランド中心の販売基盤に加えキャリア・ヤング市場への取り組みを進めましたが、同部門の売上高は13億44百万円となり、前年同期比5億12百万円（27.6%）の減収となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は32億73百万円（前年同期比8億45百万円の減少）となり、利益面におきましても営業利益は1億89百万円（同93百万円の減少）、経常利益は1億81百万円（同82百万円の減少）となりました。特別損失として紡績設備への工程合理化投資に伴う費用4百万円、法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額計53百万円を計上しました結果、四半期純利益は1億23百万円となり、前年同期比25百万円の減益となりました。

また、財務体質の改善につきましては、長短借入金に割引手形を含めた有利子負債の圧縮を図りました結果、有利子負債は96百万円となり、前年度末比2億64百万円の圧縮ができました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前年度末比3億8百万円減の39億35百万円となりました。これは主として棚卸資産及び売上債権の減少によるものです。負債につきましては、前年度末比3億93百万円減の17億29百万円となりました。これは主として長短借入金・仕入債務及び未払法人税等の減少によるものです。純資産につきましては、前年度末比85百万円増の22億5百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。この結果、自己資本比率は56.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の連結ベースの現金及び現金同等物は、83百万円となり、前年度末比29百万円減少しました。

連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3億84百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益（1億77百万円）、減価償却費（71百万円）、売上債権の減少（82百万円）、棚卸資産の減少（1億83百万円）、法人税等の支払い（1億86百万円）等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億11百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、3億2百万円となりました。これは主として、長短借入金の返済（2億64百万円）及び配当金の支払（38百万円）によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月5日に公表しました、平成22年3月期の通期連結業績予想は、販売環境の厳しさから下方修正しております。

(1) 連結業績予想数値の修正

平成22年3月期通期 (平成21年3月26日～平成22年3月25日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	4,800	294	280	160
今回発表予想	4,500	264	250	140

(2) 個別業績予想数値の修正

平成22年3月期通期 (平成21年3月26日～平成22年3月25日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	4,800	240	240	138
今回発表予想	4,500	220	220	123

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、移動平均法による原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これに伴う損益への影響はありません。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正(所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号)を契機に、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数の見直しを行っております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が8百万円それぞれ減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月25日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月25日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,913	113,677
受取手形及び売掛金	1,008,852	1,091,684
商品及び製品	296,479	430,991
仕掛品	45,575	45,553
原材料及び貯蔵品	120,179	168,733
繰延税金資産	26,373	42,897
その他	75,156	63,197
貸倒引当金	△4,656	△4,518
流動資産合計	1,651,873	1,952,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,750,446	1,743,676
減価償却累計額	△1,499,344	△1,476,658
建物及び構築物(純額)	251,101	267,017
機械装置及び運搬具	2,072,552	2,191,282
減価償却累計額	△1,889,650	△1,998,848
機械装置及び運搬具(純額)	182,901	192,434
土地	1,702,657	1,702,657
その他	145,254	128,132
減価償却累計額	△116,078	△113,732
その他(純額)	29,176	14,399
有形固定資産合計	2,165,837	2,176,508
無形固定資産		
	648	648
投資その他の資産		
投資有価証券	2,591	2,055
関係会社出資金	9,969	35,201
長期貸付金	3,314	3,409
繰延税金資産	78,854	72,372
その他	25,397	29,383
投資損失引当金	—	△24,939
貸倒引当金	△3,200	△3,200
投資その他の資産合計	116,928	114,284
固定資産合計	2,283,414	2,291,442
資産合計	3,935,287	4,243,658

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月25日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月25日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	567,702	606,309
短期借入金	96,500	346,200
未払法人税等	—	101,846
賞与引当金	12,952	39,097
その他	161,067	139,512
流動負債合計	838,222	1,232,966
固定負債		
長期借入金	—	14,700
退職給付引当金	191,600	175,593
長期末払金	9,000	9,000
再評価に係る繰延税金負債	691,052	691,052
固定負債合計	891,653	890,346
負債合計	1,729,876	2,123,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	731,404	731,404
利益剰余金	465,063	380,563
自己株式	△2,784	△2,675
株主資本合計	1,193,683	1,109,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△670	△681
繰延ヘッジ損益	1,351	686
土地再評価差額金	1,011,047	1,011,047
評価・換算差額等合計	1,011,728	1,011,053
純資産合計	2,205,411	2,120,345
負債純資産合計	3,935,287	4,243,658

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月26日 至 平成21年12月25日)
売上高	3,273,285
売上原価	2,566,902
売上総利益	706,383
販売費及び一般管理費	516,508
営業利益	189,874
営業外収益	
受取利息	1,675
受取配当金	69
その他	1,808
営業外収益合計	3,553
営業外費用	
支払利息	3,217
手形売却損	3,494
賃貸収入原価	2,385
為替差損	1,103
その他	1,399
営業外費用合計	11,599
経常利益	181,828
特別損失	
固定資産除売却損	300
事業構造改善費用	4,302
特別損失合計	4,603
税金等調整前四半期純利益	177,225
法人税、住民税及び事業税	44,001
法人税等調整額	9,580
法人税等合計	53,581
四半期純利益	123,643

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月26日 至 平成21年12月25日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	177,225
減価償却費	71,126
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	137
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,006
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	△24,939
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,144
受取利息及び受取配当金	△1,744
支払利息	3,217
為替差損益 (△は益)	△102
有形固定資産除売却損益 (△は益)	300
事業構造改善費用	4,302
売上債権の増減額 (△は増加)	82,832
たな卸資産の増減額 (△は増加)	183,044
未収入金の増減額 (△は増加)	43,420
その他の資産の増減額 (△は増加)	16,891
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,427
未払金の増減額 (△は減少)	15,757
未払費用の増減額 (△は減少)	6,505
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	11,324
小計	572,732
利息及び配当金の受取額	1,744
利息の支払額	△2,815
法人税等の支払額	△186,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	384,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△111,609
投資有価証券の取得による支出	△517
長期貸付金の回収による収入	94
その他	457
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△135,000
長期借入金の返済による支出	△129,400
自己株式の取得による支出	△109
配当金の支払額	△38,452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△302,961
現金及び現金同等物に係る換算差額	102
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△29,763
現金及び現金同等物の期首残高	113,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,913

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当社グループは、専ら繊維事業及びこれに付帯する事業を営んでいますので、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

[所在地別セグメント情報]

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報は記載していません。

[海外売上高]

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月26日～12月25日)

科目	前年同四半期 (平成21年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	4,119
II 売上原価	3,294
売上総利益	824
III 販売費及び一般管理費	541
営業利益	283
IV 営業外収益	6
V 営業外費用	25
経常利益	264
VI 特別利益	1
VII 特別損失	6
税金等調整前四半期純利益	259
税金費用	110
四半期純利益	149

(2) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月26日～12月25日)

当社グループは、専ら繊維事業及びこれに付帯する事業を営んでいますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月26日～12月25日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月26日～12月25日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。